

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月14日

事業所名 療育ケアMARINE RAINBOW 久留米高校前

		チェック項目	はい	いいえ	夫している	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5人	3人		・特性に合わせて場所を分けている。 ・個別療育時の部屋が少ない。 →環境設定で対応を検討する。
	2	職員の配置数は適切である	4人	4人		・配置数は適切だが休みが多い時は必要だと感じる。 →配置上は問題ないが、入ってくる報酬に限りがあるため、できる範囲で支援の質の観点から職員を増やすように努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2人	6人		・構造化した環境の設定が必要。→環境設定を検討する。 ・車椅子の利用者様、又は現在の利用者様が松葉杖などになった時のことは想定しているのか。 →今後、該当する児童様の受け入れがある際に事業所内で検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2人	6人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・PDCAサイクルが出来ているかと聞かれると出来ていないと思う。 →職員による会議等で実施するよう努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6人	2人		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5人	3人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・知りません。 →HPで公表している旨を周知する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5人	3人		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7人	1人		・勉強会は開いている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7人	1人		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7人	1人		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5人	3人		・1ヶ月前に職員同士で話し合っていて。 ・取り組もうとしているがチーム内の共有はいいいちである。 →朝礼での打ち合わせや支援振り返りでの共有を徹底する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6人	2人		・職員全員で決めている ・活動内容が固定化しているように感じる。 →事業所内にてプログラムを検討し直す。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5人	3人		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7人	1人		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8人	0人		・ミーティングにて振り返りや予定を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5人	3人		・次の日に行っている ・その日の終わりには出来ていない。次の日にしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8人	0人		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7人	1人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・個別支援計画のモニタリングや見直しは適宜行っている為、職員全員で共有する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4人	4人		

	チェック項目	はい	いいえ	夫している	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4人	4人		・担当前の職員間のミーティングが必要。 ・情報共有(事前の)出来ていない。 ・児童館もしくは主任が行くことが主なので今後は色んな職員が行けるようにしていく。 →状況に合わせて複数人でも参加を検討する。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7人	1人		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1人	7人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・知らない。 →該当する児童様がいない為、必要に応じて検討する。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4人	4人		・園や学校との連携を増やして、密にする必要あり。 ・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・以前利用していたところとは中々情報共有出来ていない。 →各関係機関との連携を図っていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0人	8人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・まだない。 ・わからない。 ・まだ該当(対応)児童様の例がない。 →今後、必要に応じて対応する。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2人	6人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・わからない。 →今後、検討する。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1人	7人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →今後、検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0人	8人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →今後、検討する。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8人	0人		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3人	5人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →今後の実施を検討する。またペアレント・トレーニングについて職員会議で取り扱う。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6人	2人		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6人	2人		・定期的な保護者様のカンファが必要。 ・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →継続して適宜、行っていく。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0人	8人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・やっていない。 →今後の開催を検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6人	2人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1人	7人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・知らない。 →HUGを活用して活動の様子を継続して発信する。
	35 個人情報に十分注意している	8人	0人		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8人	0人		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0人	8人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 ・やっていない。 →今後の実施を検討する。

		チェック項目	はい	いいえ	欠している	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5人	3人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →マニュアルを定期的に確認する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7人	1人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →研修で共有する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7人	1人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →研修で共有する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7人	1人		・先月入社したためまだ把握出来ていない。 →研修で共有する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6人	2人		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6人	2人		・ヒヤリハットは起きてからでは遅いので予測でも起こったときを實際に想定して職員がどう動くべきかも確認しておく方が良いと思う。 ・ヒヤリハットを書くことが習慣化していない。 →事業所内で話し合いを行い習慣化を徹底する。